

Mizuho Daily Market Report

2024/11/11

為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	152.70	152.64	▲0.30	▲0.37
EUR	1.0779	1.0718	▲0.0087	▲0.0116
AUD	0.6651	0.6583	▲0.0096	+0.0024
SGD	1.3221	1.3255	+0.0054	▲0.0006
CNY	7.1546	7.1841	+0.0407	+0.0551
MYR	4.3862	4.3825	▲0.0218	+0.0018
THB	34.12	34.02	▲0.28	+0.12
IDR	15673	15670	▲65	▲50
PHP	58.29	58.27	▲0.46	+0.16
INR	84.38	84.38	▲0.00	+0.29
VND	25302	25286	▲79	▲14

金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	4.304%	▲2.1 bp	▲7.9 bp
日本(10年)	1.009%	▲0.1 bp	+5.8 bp
ユーロ圏(10年)	2.367%	▲7.8 bp	▲3.8 bp
オーストラリア(5年)	4.187%	▲5.4 bp	+3.6 bp
シンガポール(5年)	2.730%	▲5.1 bp	+0.9 bp
中国(5年)	1.745%	▲1.8 bp	▲6.0 bp
マレーシア(5年)	3.613%	▲4.7 bp	▲5.6 bp
タイ(5年)	2.214%	▲1.2 bp	+2.2 bp
インドネシア(5年)	6.583%	▲14.4 bp	▲12.4 bp
フィリピン(5年)	5.709%	▲9.5 bp	+4.3 bp
インド(5年)	6.750%	▲1.5 bp	▲3.2 bp
ベトナム(5年)	2.030%	+2.0 bp	+2.0 bp

株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	43,988.99	+0.6%	+4.6%
N225(日本)	39,500.37	+0.3%	+3.8%
STOXX50(ユーロ圏)	4,802.76	▲1.0%	▲1.5%
ASX(オーストラリア)	4,417.83	▲0.8%	▲1.1%
FTSE(シンガポール)	3,724.37	+1.4%	+4.8%
SSEC(中国)	3,452.30	▲0.5%	+5.5%
SENSEX(インド)	79,486.32	▲0.1%	▲0.3%
JKSE(インドネシア)	7,287.19	+0.6%	▲2.9%
KLSE(マレーシア)	1,621.24	▲0.1%	+1.1%
PSE(フィリピン)	6,977.18	▲0.5%	▲2.3%
SETI(タイ)	1,464.69	▲0.3%	+0.0%
VNINDEX(ベトナム)	1,252.56	▲0.6%	▲0.2%

商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	281.68	▲1.6%	+0.8%
金	2,684.77	▲0.8%	▲1.9%
原油(WTI)	70.38	▲2.7%	+1.3%
銅	9,302.37	▲2.4%	▲1.5%

*1週間前の終値と比較

【本日の予想レンジ】

USD/JPY	152.60	-	154.80
EUR/USD	1.0670	-	1.0930
AUD/USD	0.6485	-	0.6780
USD/SGD	1.3060	-	1.3380
USD/CNY	7.1760	-	7.1990
USD/INR	4.3300	-	4.4330
USD/THB	33.40	-	34.45
USD/IDR	15550	-	15850
USD/PHP	58.25	-	58.85
USD/VND	83.30	-	84.40
USD/VND	24,100	-	25,500

【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (8)	>	Bear (0)
USD/SGD	Bull (7)	>	Bear (1)

Contact:
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department
Tel: 65-6805-4100

【為替】

金曜日のアジア時間のドル円は153円台前半でオープン。序盤はじりじりと値を上げる展開となった後、加藤財務相による円安けん制発言がなされたことや、アジア主要株が揃って軟調な推移となったことから、円買い地合いに。ドル円は152円台前半まで下落した後、引けにかけてはやや値を戻し152円台後半で海外時間へ渡った。同日のアジア通貨はまちまち。ASEAN通貨については概ね堅調な動きとなり、対ドルで上げ幅が大きかったタイバーツやフィリピンペソは前日比約0.8%高となった。

海外市場のドル円は152円台後半でスタート。トランプ・トレードの一巡を背景とした売りが先行し、152円台前半まで下落しNYオープン。NY時間午前中は低下していた米金利が戻す展開に買い戻しが優勢となり、152円台後半まで上昇。しかし、続いて発表された米11月ミシガン大学1年先の期待インフレ率が予想を下回った事を受け152円台前半まで下落。その後は、トランプ前大統領が米通商代表にライト・ハイザー氏に要請すると一部で報道されると、トランプ・トレードが再度進み、再び152円台後半まで反発。午後は米国の3連休を控える中、米金利が上昇幅を縮小する動きが上値を抑え、152円台後半まで反落しクローズ。

【金利】

金曜日の米10年債利回りは低下。欧州時間にかけて上下しながら金利低下傾向となる中、NY時間朝一時上昇、その後すぐに大きく買い戻される展開が見られたが、午後にかけては若干に水準を戻し、前日比では7.9bp低下でクローズした。

【予想】

本日のドル円は底堅い展開を予想。本日の米国は為替・債券共に休場であり、米国主導での新たな材料は出難いと思われる。一方日本では先日の日銀金融政策決定会合における主な意見が公表される予定で、仮に早期利上げを求める内容が確認されれば円買いとなる可能性もあるが、あくまで一時的なものに留まると予想。

【本日の予定】

(日本) 10月 景気ウォッチャー調査
(日本) 10月 銀行貸出動向
(日本) 9月 国際収支:経常収支
(日本) 日銀 主な意見
(日本) 物価連動債(10Y)
(アジア) 10月 インドネシア 国内自動車販売
(アジア) 10月 インドネシア 消費者信頼感指数
(アジア) 10月 中国 対外直接投資
(欧州) 10月 独 卸売物価指数
(欧州) 独 国債入札(6M、12M)
(米国) 休場 ヘテランステー

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権は必ずしも銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。